



那須 英二 議員

日本共産党弥富市議団

問 駅開発より優先順位を考えて！

答 廃止・複合はサービスの向上に



▲さくら会館

公共施設再配置計画とJ・R・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業について以下を問う。

問 36年間で332億円不足し、公共施設の統廃合を行うというが、現在の進捗は。

答 **【財政課長】** 保健センターの移転は完了。火葬場建て替えは進行中。

問 この中に、自由通路事業は含まれているか。

答 未整備なので含まれていない。

問 なぜ含めていないか。

答 公共建造物でなくインフラ施設の更新費用として計画する。

問 この事業の単年度の借金返済額は。

答 約1億6千万円。償還期間20年。

問 自由通路の維持管理費は。

答 **【都市整備課長】** 鉄道事業者と維持管理協定を締結後、算出。

問 さくら会館や十四山公民館は廃止するのに、橋上化は進めるのか。

答 **【建設部長】** 進めていく。

問 再配置計画の作成時と、今の財政状況は大きく変わっているが、市の認識は。

答 **【総務部長】** 適切に見直していく。

問 これを踏まえて、公共施設再配置計画の整合性は。

答 概ね5年ごとに計画を見直す。

問 計画自体を大幅に見直すべきでは。

答 適切に判断していく。

問 一方では市の財源が不足する、他方では大型公共事業に対して財源はあると言ったが、市民の望む優先順位と費用対効果を考えるべきでは。

答 廃止、複合化はサービスの向上につながる。大型公共投資は財源の見通しが立てば進める。

介護保険事業について以下を問う。

問 第7期計画を振り返り、市の見解は。

答 **【健康福祉部長】** 3つの基本目標を掲げ事業に取り組んできた。

どの目標も事業の認知度の低さが課題となった。

問 第8期計画の見通しは。

答 策定委員会で保険料増額の見込みを提示。

問 値上げしないよう最大限に努力しては。

答 介護給付費準備基金を取り崩し、軽減を図る。

問 介護予防事業を行い、保険料を下げる考えは。

答 新規事業を立ち上げ、要介護認定率の低下につなげていく。

問 根本的に、介護保険事業の制度についてどのような認識か。

答 **【市長】** 保険料の上昇を抑える手立てが不可欠。介護人材の確保も重要。

問 介護保険制度の現状と今後は

答 保険料上昇抑制が不可欠



▲十四山公民館